

別紙 1

## 論文審査の要旨

報告番号	乙 第 2983 号	氏 名	小宮山 浩大
論文審査担当者	主査	後閑 武彦 教授	
	副査	柴田 孝則 教授	
	副査	平野 勉 教授	
<p>(論文審査の要旨)</p> <p>ヨード造影剤による造影剤腎症 (Contrast Induced nephropathy : CIN) は慢性腎臓病例で有意に発症率が高く、発症後の予後が著しく低下するため、その予防は重要であるが、CIN 発症を予防する薬剤はいまだ一定でない。本研究では重炭酸とアスコルビン酸を併用することで CIN 発症予防について現状で最もエビデンスのある生理食塩水負荷と比較検討した。対象はカテーテル検査・治療の適応患者のうち慢性腎臓病ステージⅢ以上の 429 例で、無作為に生食単独群 (218 例) と重炭酸+アスコルビン酸併用群 (211 例) に分け CIN の発症を前向きに比較検討した。術前の腎機能・使用した造影剤量・負荷した生食量などの患者背景は両群間で差は認められなかった。CIN は生食単独群で 19 例 (8.7%)、重炭酸+アスコルビン酸併用群で 6 例 (2.8%) の発症であり、重炭酸+アスコルビン酸併用群で CIN 発症を有意に少なくすることができた (<math>p=0.008</math>)。本論文は臨床的意義の高い新しい知見を有しており、学位授与に値すると判定した。</p> <p>論文題名 :</p> <p>Sodium Bicarbonate-Ascorbic Acid Combination for Prevention of Contrast-Induced Nephropathy in Chronic Kidney Disease Patients Undergoing Catheterization (慢性腎臓病患者における重炭酸+アスコルビン酸投与によるカテーテル手技に伴う造影剤腎症予防効果)</p> <p>掲載雑誌名 :</p> <p>Circulation Journal Vol.81 No.2 (2017) 235-240</p>			

